

取組分類	取組項目	計画内容	実施年度	平成28年度 目標	平成28年度 取組結果	内部 評価	実施課	外部 評価	コメント	
【第一の柱】 医療スタッフの 人材確保と育成	医師の増員	常勤医師の増員	平成27年度～ 平成30年度	常勤医師 74人 (H29.4.1時点)	常勤医師 70人 (H29.4.1時点) ※昨年同期に比べて2名の増員 ※平成26年以降不在となっていた循環器 内科の医師2名及び呼吸器外科の医師2 名を確保	B	病院総務課	B		
		初期臨床研修医の受入枠の 拡充	平成27年度	初期研修医 1名以上確保	平成27年4月に3名を受入、平成29年3 月に1名を受入れ、計4名の初期臨床研 修医に対する研修を実施。	A	教育研修・病院 事業管理室	A		
		指導医及び専門医の資格維 持及び取得の支援	平成27年度～	指導医・専門医の資格取 得・更新	各学会・研修会等への参加の支援 76名 延349件	A	教育研修・病院 事業管理室	A		
		医学生修学資金貸与制度の 創設と活用	平成27年度	平成27年度制度創設 平成28年度貸与人数 新規 4名	平成28年貸与人数 継続 2名、取消 1名、新規 7名 貸与人数 計9名 1年生 3名、2年生 1名、3年生 1名、 5年生 4名	A	教育研修・病院 事業管理室	A		
		医師の研究・技術向上の 支援	平成27年度～	研究制度の活用 昨年度（29回）以上の活用	制度活用 延21回	B	病院総務課	B		
		シミュレーション機器の購 入・充実	平成27年度	平成27年度整備終了	—	—	教育研修・病院 事業管理室	—		
		医師事務作業補助者（医療 秘書）の増員	平成27年度～ 平成30年度	医師事務作業補助者の増員	28年度内に4名の増員を行ったが、5人 退職したため、22人となった。医療秘書 室の医師作業補助業務量に配慮しつつ、 医療秘書の募集を行っている。	B	医事課	B		
		リクルート活動の強化	関連医局との連携強化	関連大学医局との連携を強化するため、病院長を はじめ診療科長の医局訪問を積極的に実施する。	平成27年度～	市長同行による医局訪問 5大学 延べ23回実施 うち市長同行 2大学 延べ2回実施	A	教育研修・病院 事業管理室	A	
			幅広い人材募集・確保	医師や看護師の派遣紹介会社と契約を結び、全国 から幅広く人材を募集・確保する。	平成27年度～	紹介件数 10件 採用 1名以上 6社の斡旋会社と契約締結 紹介件数 15件 うち、1名の採用（平成29年3月入職）	A	教育研修・病院 事業管理室	A	
		組織の設置と医療ス タッフの育成	医療の質の向上と医療ス タッフの育成による院内活 性化	平成27年4月に設置した「教育研修・病院事業管 理室」を中心に、医療情報収集や分析、院内臨床指 標の作成や公開、院内研修等の企画実施、臨床研修 プログラムの作成を行っていく。	平成27年度～	医療情報収集や分析 院内臨床指標の作成や公開 院内研修等の企画実施 臨床研修プログラムの作成 1. 医療情報の収集・分析 四半期ごとに実施している。 2. 臨床指標の作成・公開。 平成24年度より作成し、毎年度公開し ている。平成27年度分は、平成29年3月 に公開した。 3. 院内各部署において目標による管理 の開始 4. 臨床研修プログラム 平成16年度作成済み。制度改正等によ る更新を行っている。	A	教育研修・病院 事業管理室	A	
	女性医師・看護師等の 就労支援と離職防止	院内保育所の機能充実策の 検討	女性医師や看護師等が働きやすい環境の改善を図 るため、院内保育所の夜間保育拡充等の機能充実策 を検討する。	平成27年度～	利用者増加への対応策の検 討及び実施 利用者増加に対応するため、2階の居室 を保育室に改修する工事の実施を決定。 (改修工事は平成29年度に実施) これにより、受入人数はこれまでの最高 23人から46人に増加。	B	病院総務課	B		

取組分類	取組項目	計画内容	実施年度	平成28年度 目標	平成28年度 取組結果	内部 評価	実施課	外部 評価	コメント
	職場環境改善に関するアンケートの実施	看護職員に対して職場環境改善に関するアンケートを、退職予定者には退職理由のアンケートを行い、現状把握をたうえで、勤務体制や処遇改善等の離職防止改善策を検討し、離職率を抑える。	平成27年度～	離職率10%以下	平成28年10月に全職員を対象とした職員満足度調査を実施。 平成28年度の離職率 7.3%	A	看護部 教育研修・病院 事業管理室	A	
	離職した看護師への声かけ	離職した看護師に対し積極的に声かけをおこない、再就職を促すとともに、勤務時間の自由がきくパート看護師の確保を進めていく。	平成27年度～	離職した看護師への働きかけの拡充	県看護協会主催の合同就職相談会に参加し、再就業の啓発活動を行った。	B	看護部 教育研修・病院 事業管理室	B	
	看護職員の負担軽減	看護職員の負担軽減のために、看護補助員の業務を明確化するとともに、継続的に増員を図る。	平成27年度～	看護補助員の増員及び適正な配置数の検証	ハローワークへの求人登録、当院HPへの募集掲載は通年実施。さらには就職情報誌への募集掲載を3回実施。 平成29年3月末43名 平成28年3月末40名	A	病院総務課	B	看護補助員の適正な配置数についてより検討すること
	看護師や助産師の確保と育成	清水看護専門学校で学生の実習を積極的に受け入れる。	平成29年度～	—	—	—	看護部 教育研修・病院 事業管理室	—	
病棟薬剤師の配置	病棟薬剤師の配置	薬物療法の高度化が進み、医療の質の向上や医療安全の観点から病棟薬剤師の配置が必要となっている。入院患者への服薬指導や処方薬管理の充実を図り、副作用発見、服薬に関連した事故防止、医師・看護師の負担軽減のために、各フロア1名の病棟薬剤師を配置を目指していく。	平成27年度～	病棟薬剤師5人の配置 薬剤師数(目標) H29.4.1時点 23人	薬剤師数 22人(H29.4.1時点) 病棟薬剤師5人の配置は未達成(病棟での薬剤業務は一部実施) ※平成28年度中に3回の採用試験を実施し、29年4月1日採用者として2名の確保を図ったが、28年度中に2名の退職者があり、前年度からの増員はならなかった。 ※増員計画は、H27.4.1時点で19人の薬剤師を計画的に増員し、H30.4.1時点までに25人とする計画。	B	病院総務課	B	
リハビリテーションスタッフの増員	リハビリテーションスタッフの増員	平成27年4月に、回復期リハビリテーション病棟の機能強化、急性期リハビリテーションの拡充、及び地域包括ケア病棟の設置に必要なリハビリテーションスタッフを確保していく。	平成27年度～	新規計画に基づくリハビリスタッフの増員(2名) ※当初計画の6名増員は平成27年度に達成済 ※新規計画は、H27.4.1時点26人の職員をH30.4.1までに7名増員して33人とする計画。	平成28年度の採用試験にて平成29年4月1日付けで2名を採用(理学療法士1名、言語聴覚士1名) (各年4.1時点職員数) H26 H27 H28 H29 PT 11 13 15 16 OT 6 8 9 9 ST 3 5 5 6 計 20 26 29 31 ※平成30年4月1日付けで2名の採用を予定(PT 1人、ST 1人)	A	病院総務課	A	
研修の充実	研修の充実	研究会等への参加、学会での演題等の発表を促し、指導医及び専門医などの各種資格取得を支援する。	平成27年度～	学会等での発表の報告	学会での症例発表を行う場合のポスター作製などの準備及び旅費、参加費等のサポートを実施 平成28年度の学会発表件数 73件	A	教育研修・病院 事業管理室	A	
	認定看護師や認定薬剤師等スペシャリストの資格取得及び育成の支援	高度専門化が進む医療現場において、医療の質向上のために認定看護師や認定薬剤師等スペシャリストの資格取得及び育成を支援する。主に集中治療室やがん分野など、当院に必要な専門分野の認定看護師を、計画的に育成する。また、資格が効果的に発揮できる機会提供と配置を行うことで職員のモチベーションの向上に繋げるとともに、院内研修等の様々な活動を通じて職員全体のスキルアップを図っていく。	平成27年度～	認定看護師・認定薬剤師の資格取得 各職種1名以上	認定看護師1名は「集中ケア認定看護師」の養成学校へ派遣。(平成29年度に取得) 認定薬剤師は「感染制御認定薬剤師」1名、「NST専門薬剤師」1名取得。	A	教育研修・病院 事業管理室 病院総務課	A	
	患者サービスの向上と働きやすい環境づくり	患者サービスの向上、働きやすい環境、区民に対しての情報発信、また経営などについて、広く職員で意識を共有し、委託職員を含む病院で働く全職員の接遇や改善に関する意識を高めていく。	平成27年度～	接遇改善に関する事業の実施	専門業者の支援を受けた下記の接遇改善事業を実施。 ①接遇実態調査(覆面調査・2回実施) ②管理者研修(3部署の管理職を対象に3回実施) ③接遇講演会(全職員対象、同内容で2回に分け実施)	A	教育研修・病院 事業管理室 病院総務課	A	
	研修体制の充実	事務職員のスキル向上のため研修体制の充実を図る。	平成29年度～	—	—	—	病院総務課 病院施設課 医事課	—	

取組分類	取組項目	計画内容	実施年度	平成28年度 目標	平成28年度 取組結果	内部 評価	実施課	外部 評価	コメント	
【第二の柱】 「病床機能の再編と機能の強化」	急性期病床の機能強化	集中治療室の充実	平成29年度～	—	—	—	集中治療室	—		
		病診連携・病病連携の推進	平成27年度～	紹介率の向上 紹介率 55.0% 逆紹介率 87.5%	紹介率 56.5% 逆紹介率 90.3%	A	医事課 地域医療支援室	A		
		高度医療機器の整備	平成27年度～	計画を前倒し、平成28年度にMRI増設	平成28年9月 契約締結 平成28年12月 納入 平成29年1月 稼働開始	A	病院施設課 教育研修・病院 事業管理室	A		
	回復期リハビリテーション病棟の機能強化	早期リハビリテーションの実施	平成29年度～	—	—	—	リハビリテーション科	—		
		リハビリテーションスタッフの増員（再掲）	平成27年度～	新規計画に基づくリハビリスタッフの増員（2名） ※当初計画の6名増員は平成27年度に達成済 ※新規計画は、H27.4.1時点26人の職員をH30.4.1までに7人増員して33人とする計画。	平成28年度の採用試験にて平成29年4月1日付けで2名を採用（理学療法士1名、言語聴覚士1名） (各年4.1時点職員数) H26 H27 H28 H29 PT 11 13 15 16 OT 6 8 9 9 ST 3 5 5 6 計 20 26 29 31 ※平成30年4月1日付けで2名の採用を予定（PT 1人、ST 1人）	A	病院総務課	A		
	地域包括ケア病棟の設置と機能強化	地域包括ケア病棟の充実	平成27年度～	他の医療機関からの転院も含め急性期後の患者受入、在宅復帰の支援、在宅患者の緊急時受入に対応できる医療体制を確保していくため、平成27年度に新設した地域包括ケア病棟の充実を図る。	地域包括ケア病棟のリハビリテーションスタッフの増員（3名）	平成27年度の採用試験にて平成28年4月1日付けで3名を採用（理学療法士2名、作業療法士1名）	A	病院総務課	A	
		在宅復帰に向けた支援	平成27年度～	地域包括ケア病棟内に地域ケアマネージャー室を設置し、病院職員とケアマネージャーとの連絡、連携を密にし、在宅復帰に向けた支援を行う。	在宅復帰率 70%	在宅復帰率 92.9%	A	医事課	A	
	センター化の推進	センター化の推進	平成28年10月に認知症疾患医療センターを設置。専門的・診療科横断的な医療と、患者中心の良質なチーム医療を更に進めるため、呼吸器疾患センター（仮称）、整形疾患センター（仮称）、入退院センター（仮称）の設置を目指す。	平成28年度～	・認知症疾患医療センターを設置 ・センター化の推進（新規センターの開設準備）	・平成28年4月1日付けで臨床心理士1人、精神保健福祉士2人を採用、開設準備の後、平成28年10月1日に市の指定を受け、認知症疾患医療センターを開設。 ・呼吸器外科の常勤医師確保を機に、呼吸器内科と呼吸器外科を統合し、呼吸器に関する専門的・診療科横断的な医療を提供する呼吸器センターの開設準備を実施。（平成29年4月1日開設）	A	病院総務課 病院施設課 医事課 教育研修・病院 事業管理室	A	

取組分類	取組項目	計画内容	実施年度	平成28年度 目標	平成28年度 取組結果	内部 評価	実施課	外部 評価	コメント																							
【第三の柱】 「地域連携の推進と安心・安全な医療の提供」	地域連携の推進	紹介率の向上	地域医療支援病院としての機能を維持・強化し、紹介率を向上させる。	平成27年度～	紹介率の向上 紹介率 55.0% 逆紹介率 87.5%	紹介率 56.5% 逆紹介率 90.3%	A	医事課 地域医療支援室	A	逆紹介率について前年度よりも高い目標値にすること																						
			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率 (%)</td> <td>55.0</td> <td>56.0</td> <td>57.0</td> <td>58.0</td> <td>59.0</td> <td>60.0</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率 (%)</td> <td>87.5</td> <td>87.5</td> <td>87.5</td> <td>87.5</td> <td>87.5</td> <td>87.5</td> </tr> </tbody> </table>		H28	H29	H30	H31	H32	H33	紹介率 (%)	55.0	56.0	57.0	58.0	59.0	60.0	逆紹介率 (%)	87.5	87.5	87.5	87.5	87.5	87.5								
			H28	H29	H30	H31	H32	H33																								
		紹介率 (%)	55.0	56.0	57.0	58.0	59.0	60.0																								
	逆紹介率 (%)	87.5	87.5	87.5	87.5	87.5	87.5																									
	病診連携の推進	医師会との定期的な協議会の開催、オープンシステムの推進、地域連携バスの運用、研修会等の周知などにより、病診連携を推進する。	平成27年度～	協議会の開催（年1回）	平成29年1月30日 清水医師会 清水病院 病診連携協議会を開催	A	地域医療支援室	A																								
	地域の医療機関との連携	地域の医療機関と連携を強化し、退院患者のケア情報や地域の介護・福祉施設等の状況など幅広い情報の交流に努める。	平成27年度～	関係機関との情報交換会の実施（年2回）	清水病院医療・介護・福祉連携協議会を2回開催 （第1回平成28年6月23日 第2回平成28年12月12日）	A	地域医療支援室	A																								
	医療ソーシャルワーカーの増員	退院支援など医療福祉相談業務を強化し、患者の在宅復帰への促進を図るため、医療ソーシャルワーカーを増員する。	平成27年度～	組織体制・人員体制の整備	地域医療支援室の医療ソーシャルワーカーを2名増員し、退院支援体制の強化を図った。 平成29年3月末 11名 平成28年3月末 9名	A	病院総務課 医事課	A																								
	医療安全対策の実施	安心・安全な医療提供	院内のインシデント・アクシデントや院外からの有用な情報などを収集・分析・活用し、医療スタッフへ迅速にフィードバックすることによって、より安心・安全な医療を提供していく。	平成27年度～	定期的な医療安全管理委員会の開催	医療安全管理委員会を年11回 （月1回（8月除く）開催 医療安全カンファレンス：年60回開催	B	医療安全管理室	B																							
		患者の安全確保	患者の安全確保のために、医療スタッフ個人レベルでの事故防止、組織全体としてシステム改善に取り組んでいく。また、医療安全指針やマニュアルについて、定期的に見直しを図っていく。	平成27年度～	安全な医療のための文書集等の見直し	医療安全作業部会による各文書及びマニュアル等の見直し作業を実施し、改訂した。	B	医療安全管理室	B																							
患者と医療スタッフの信頼関係の強化		患者と医療スタッフは治療に関する情報を共有し、互いの信頼関係を強化し、協同して治療を行っていく。	平成29年度～	—	—	—	医療安全管理室	—																								
医療安全に関する研修会の開催		医療安全に関する研修会を定期的に開催し、職員の医療安全に対する意識をさらに高めていく。	平成27年度～	医療安全研修会の開催	全職種対象：3回開催 新人職員対象：10回開催 全看護師対象：3回開催	B	医療安全管理室	B																								
院内感染防止対策の実施	院内感染防止対策の推進	様々な職種の職員で組織するチーム（ICT：感染制御チーム）で、臨床、施設設備など院内の環境チェックや感染防止対策の実施状況の確認などを行い、組織全体で情報の共有化を図り、院内感染防止対策を推進していく。	平成27年度～	委員会開催（毎月） ICTによる院内巡回	委員会・・・月1回（12回開催） ICT巡回・・・5チームが月1回約2部署を巡回（95部署巡回済）	A	院内感染防止対策室	A																								
	全職員を対象とした感染防止対策に関する研修会の開催	全職員を対象に、地域の医療関係者も招いて毎年研修会を開催し、院内感染防止対策の基本的考え方や最新の具体的方策について共に学び、地域全体として安全な医療を提供できるよう、院内感染の防止に努めていく。	平成27年度～	感染防止対策研修会の開催（年3回）	第1回を5月に開催【283名】 第2回を9月に開催【280名】 第3回を2月に開催【174名】	A	院内感染防止対策室	A																								
災害拠点病院としての医療体制の充実	DMAT（災害派遣医療チーム）の登録	DMAT（災害派遣医療チーム）もう1チームの登録追加を目指す。	～平成30年度	登録追加に向けた新規メンバーの選定	日本DMAT隊員の新規登録なし。 静岡DMATについては、2名を新規登録。 平成28年度末、合わせて10名（日本8人、静岡2人）が登録。 平成29年度以降も増員を予定。	B	病院総務課	B																								
	市民と協働での地域防災訓練の実施や市民への啓発活動の実施	市民と協働での地域防災訓練や市民への啓発活動を実施することで、発災時の自助・共助・互助の精神を養う。	平成27年度～	各種防災訓練の実施	・8月6日実施の大規模地震時医療活動訓練（政府訓練）に参加（ヘリによる搬送訓練も実施） ・11月20日院内関係者のエマルゴ訓練（図上訓練）を実施 ・12月4日静岡市主催の地域防災訓練に参加（自主防災組織と連携）	A	病院総務課	A																								

取組分類	取組項目	計画内容	実施年度	平成28年度 目標	平成28年度 取組結果	内部 評価	実施課	外部 評価	コメント
	患者満足度の向上	患者さんによる医療サービスに対する評価、要望の把握	平成27年度～	患者満足度アンケート調査の実施 目標満足度 外来 4.00点以上 入院 4.00点以上	入院 H28 4.15点 外来 H28 4.17点 評価 (5点満点)	A	医事課	A	
	医療情報の発信	市民健康講座の開催	平成27年度～	市民健康講座の開催 (年3回)	第1回「皮膚の健康を守る」を開催 (7月30日) 【210名】 第2回「認知症と共に生きる」を開催 (10月22日) 【268名】 第3回「外科のよくある病気」を開催 (2月18日) 【180名】	A	病院総務課 医事課	A	
	病棟の改修	施設改修による入院環境の改善	平成27年度～	7階2病棟の改修	平成29年2月までに7階2病棟の改修完了	A	病院施設課	A	
【第四の柱】 「病院施設の維持と機能向上」	病院施設の機能向上	病院施設の機能向上	平成29年度～	—	—	—	病院施設課	—	
	施設の長寿命化	予防保全による老朽化対策で、無停電電源装置(CVCF)・外壁・屋上防水の改修等を行い、建物の長寿命化を図る。	平成27年度～	高層棟屋上防水の改修 外壁改修について検討	平成29年3月に高層棟屋上防水改修完了。 外壁改修については、平成30年度北棟屋上防水完了後、平成31年度から行う。	A	病院施設課	A	
	駐車場の確保と整備	駐車場の確保と整備	～平成30年度	第一駐車場整備の検討	車椅子利用者からの要望が多かった身障者用駐車場を3台分整備	A	病院施設課	A	
【第五の柱】 「収支の改善」	【第一の柱】「医療スタッフの人材確保と育成」による効果 (再掲)	常勤医師の増員	平成27年度～	常勤医師 74人 (H29.4.1時点)	常勤医師 70人 (H29.4.1時点) ※昨年同期に比べて2名の増員 ※平成26年以降不在となっていた循環器内科の医師2名及び呼吸器外科の医師2名を確保	B	病院総務課	B	
	リハビリテーションスタッフの増員	平成27年度にリハビリテーションスタッフを増員することによる診療単価の向上と、他の医療機関からの転院を含めたリハビリテーションが必要な患者の受け入れにより、病床利用率の向上を図る。	平成27年度～	新規計画に基づくリハビリスタッフの増員 (2名) ※当初計画の6名増員は平成27年度に達成済 ※新規計画は、H27.4.1時点26人の職員をH30.4.1までに7人増員して33人とする計画。	平成28年度の採用試験にて平成29年4月1日付けで2名を採用 (理学療法士1名、言語聴覚士1名) (各年4.1時点職員数) H26 H27 H28 H29 PT 11 13 15 16 OT 6 8 9 9 ST 3 5 5 6 計 20 26 29 31 ※平成30年4月1日付けで2名の採用を予定 (PT 1人、ST 1人)	A	病院総務課	A	

取組分類	取組項目	計画内容	実施年度	平成28年度 目標	平成28年度 取組結果	内部 評価	実施課	外部 評価	コメント
	薬剤師の増員	薬剤師の増員を目指し、各フロア1名の病棟薬剤師を配置していく。	平成27年度～	病棟薬剤師5人の配置 薬剤師数(目標) H29.4.1時点 23人	薬剤師数 22人(H29.4.1時点) 病棟薬剤師5人の配置は未達成(病棟での薬剤業務は一部実施) ※平成28年度中に3回の採用試験を実施し、29年4月1日採用者として2名の確保を図ったが、28年度中に2名の退職者があり、前年度からの増員はならなかった。 ※増員計画は、H27.4.1時点で19人の薬剤師を計画的に増員し、H30.4.1時点までに25人とする計画。	B	病院総務課	B	
【第二の柱】「病床機能の再編」による効果(再掲)	病棟専従者の配置	集中治療室の整備や地域包括ケア病棟の開設、センター化、リハビリテーションスタッフなどの病棟専従者の配置により、診療収入の増を図る。	平成27年度～	地域包括ケア病棟のリハビリテーションスタッフの増員(3名)	平成27年度の採用試験にて平成28年4月1日付で3名を採用 (理学療法士2名、作業療法士1名)	A	病院総務課	A	
	病棟の機能分化及び連携	地域住民が地域において必要な医療を適切に受けられるよう、高度急性期から一般急性期や回復期、さらに在宅復帰を支援する病床に再編し、病棟ごとに機能分化及び連携させることで、病床を効果的に運用し、各病棟の病床利用率をあげていく。	平成27年度～	病床利用率 一般病棟 70.1% 集中治療室 65.2% 回復期リハビリ病棟 78.7% 地域包括ケア病棟 78.6%	平成28年度末 一般病棟 70.6% 集中治療室 65.9% 回復期リハビリ病棟 79.3% 地域包括ケア病棟 78.4%	B	医事課	B	
	他の医療機関からの受入	他の医療機関からの急性期後の患者や在宅患者を積極的に受け入れ、患者増に繋げていく。	平成27年度～	紹介率の向上 紹介率 55.0% 逆紹介率 87.5%	紹介率 56.5% 逆紹介率 90.3%	A	医事課	A	
	医療機器の更新・増設	地域の基幹病院としての機能を強化し、地域医療ニーズに応えるために、高度医療機器を計画的に更新・増設する。MRI増設などにより、収入増に繋げていく。	平成27年度～	計画を前倒し、平成28年度にMRI増設	平成28年9月 契約締結 平成28年12月 納入 平成29年1月 稼働開始	A	病院施設課	A	
	【第四の柱】「病院施設の維持と機能向上」による効果(再掲)	病院施設の機能向上	産婦人科病棟の改修にあわせてLDR室を整備し、個室分娩を可能にするとともに、安心安全快適な出産を提供し患者サービスの向上を図ることで、分娩件数を増やし収益増に繋げていく。	平成29年度～	—	—	—	病院施設課	—
材料費の削減	実態の把握と使用ルールの徹底	材料等の破損・廃棄薬品などの実態を把握し、使用ルールの徹底によるコスト削減を図る。	平成27年度～	材料費の削減 材料費比率24.7%	平成28年度末 材料費比率24.0% (C型肝炎新薬影響を除いた材料費率:22.1%)	A	病院施設課	A	
	後発医薬品の採用の推進	後発医薬品の採用を推進し、薬品費の削減を図る。	平成27年度～	後発医薬品の採用、促進 後発品置換え率80%(入院医療)	平成28年度末 後発品置換え率86.1%(入院医療)	A	病院施設課	A	
未収金対策の強化	収納率の向上	徴収員や徴収委託会社による滞納抑制を図るとともに、新たな収納方法を検討する。	平成27年度～	第3次行財政改革前期実施計画の収納率 (現年)99.04% (過年)9.16%	収納率 現年 過年 H28実績 99.26% 9.28%	A	医事課	A	
適正な診療報酬の請求	診療報酬算定項目の確認	診療報酬上算定可能な項目のシステムチェックや対象リストによる確認等を実施し増収を図る。	平成27年度～	保険委員会によるチェックの実施	毎月1回(各月第4火曜日)保険委員会を開催(12回)	A	医事課	A	
	業務に精通した職員の採用の検討	医事担当職員は高度な専門的な知識や医師との情報共有が求められるため、業務に専任可能で精通した職員の採用を検討する。	平成27年度～	専門職員の採用方針の検討	平成29年4月1日付では診療情報管理士の採用を行わなかった。今後の専門職員の必要性について引き続き検討する。	B	病院総務課	B	

収支改善目標

(1) 医療スタッフの増員目標 (単位：人)

	H28計画	H28実績
医師	2	2
薬剤師	4	2
リハビリテーション	2	2

(2) 入院収益の目標 (病棟別)

①一般病棟

指標 \ 年度	H28計画	H28実績
病床数	390	390 (341)
病床利用率 (%)	70.1	70.6 (80.8)
年間患者数	99,718	100,529
入院単価 (円)	52,977	52,135
診療収入 (千円)	5,283,000	5,241,110

※右欄外括弧内の数字は実質稼働数と実質病床利用率

②集中治療病棟

指標 \ 年度	H28計画	H28実績
病床数	6	6
病床利用率 (%)	65.2	65.9
年間患者数	1,427	1,444
入院単価 (円)	93,790	96,163
診療収入 (千円)	134,000	138,859

③回復期リハビリテーション病棟

指標 \ 年度	H28計画	H28実績
病床数	44	44
病床利用率 (%)	78.7	79.3
年間患者数	12,647	12,730
入院単価 (円)	28,569	28,227
診療収入 (千円)	361,000	359,328

④地域包括ケア病棟

指標 \ 年度	H28計画	H28実績
病床数	35	35
病床利用率 (%)	78.6	78.4
年間患者数	10,039	10,013
入院単価 (円)	31,776	31,819
診療収入 (千円)	319,000	318,605

(3) 外来収益の目標

指標 \ 年度	H28計画	H28実績
診療日数 (日)	243	243
外来患者数 (人)	186,137	184,283
外来単価 (円)	13,391	13,530 (12,179)
診療収入 (千円)	2,493,000	2,493,366 (2,244,417)

※右欄外括弧内の数字はC型肝炎新薬の影響額を除いた数字

(4) 材料費の目標

指標 \ 年度	H28計画	H28実績
材料費率	24.7	24.0 (22.1)
薬品比率	16.1	15.4 (13.3)
診療材料比率	8.4	8.3 (8.5)

※右欄外括弧内の数字はC型肝炎新薬の影響額を除いた数字

(5) 紹介率・逆紹介率

指標 \ 年度	H28計画	H28実績
紹介率 (%)	55.0	56.5
逆紹介率 (%)	87.5	90.3